

家庭学習のすすめ「世に立つ成り田っ子」

児童の皆さんへ

学校では、毎日新しいことを学習します。前日までに学習したことを活用して今日の問題に挑戦したり、前学年までの学習を活用して挑戦することもあります。つまり、学校では毎日、毎時間、新しいことを学習するのです。

そこで、学習した新しいことを練習するのが家庭学習（宿題や自主学習）です。ほとんどの学年で、算数と国語のドリルが宿題になりますね。今日学習した問題の解き方を思い出し、理解できるまで練習してほしいという願いが込められています。

保護者の皆様へ

子供たちは、毎日学校で新しいことを学んでいきます。毎日、毎時間、新しいこととの出会いの連続です。家庭学習の一環として宿題が出されますが、学校で出会った新しいことを自分の力とするために出されます。そこで、家庭学習の大切さが改めて注目されているのです。

1 4大生活Point

「適切な就寝時刻と睡眠時間」「栄養満点の朝食・夕食」「毎朝の排便」「家庭学習」この4大ポイントを心がけた日常生活により、心身が安定し、充実した一日が送れることとなります。

2 会話の環境

言葉づかいを例にしても、同じ意味合いで使う言葉であればより優しく、より暖かみのある言葉づかいを推奨します。言語環境は、子供たちの健やかな成長に大きく影響します。優しい言葉の使える子供たちにしましょう。

また、「この言葉の意味は?」「この漢字の読み方は?」などの質問に、すぐに答えを与えてしまうのではなく、ヒントを与えるような会話。子供が抱く不思議に、「なぜかな?」「どうしてだろう?」と探究心をあおるような声かけは、知的好奇心を喚起します。最終的に子供の力で答えが導き出せると、それは大きな自信となり、達成感に満ちあふれ、「わかった!・できた!」という感動が与えられます。

3 お手伝い

子供は、やってあげることばかりでは力がつきません。失敗の中から学ぶことが多いものです。片付けなど子供の苦手なことは一緒にやりながら、やり方を教えてあげることが大切です。そして、そのよさに気がつくともう大丈夫です。「好きこそもの上手なれ」何事にも興味をもたせ、主体的に取り組ませる手立てとしてお手伝いは有効です。

4 本を読む家庭

本を読むことは読解力の向上や知識の獲得、心の栄養となります。4年生くらいまでは、「読み聞かせ」も本好きにさせるには有効です。月に何度か、テレビを消して、親子で互いの本を読み合い、感想を話し合う豊かな時間がもてるとよいのですが・・・。

リビングに辞書や図鑑を意図的に置いておくのも効果的です。

5 頑張りをはめる家庭

子供は、お家の人にほめてほしいと常に思っています。私たち教員は、保護者の皆さんに到底かないません。宿題や自主学習帳の隅っこに、「がんばったね」「すごいね」「じょうずだね」など、一言コメントをお願いします。お忙しい毎日ですが、帰宅が遅くなっても決まった場所にノートやプリントを開いておくよう約束すると、宿題やそれぞれのノートの隅に賞賛の一言コメントができます。一言（5秒間でできる言葉）が継続の鍵です。効果は絶大です。

6 家庭学習の環境

テレビを見ながら、何かを食べながら、遊びのカードを持ちながらの「ながら学習」は『絶対に避けましょう。頭を切り換え、学習に集中して取り組ませることで。はじめのうちは、そうできたことを大いに褒めてあげてください。集中した自主学習中、「わかる喜び」「できるようになった喜び」に触れた子供たちの感動を想像してみてください。